

意匠×一生×一笑×一升＝一匠

意匠委員会 委員長

野田 一隆氏

(所属：日本たばこ産業株式会社)



interview

自己紹介

知財歴7年（意匠担当歴7年）、弁理士、中小企業診断士、入社は研究職

→本社スタッフ→製造（エンジニア）→営業→知財部と流れに流れてきました。

JIPA歴は3年になります。順調にステップアップして、今年から委員長になりました。

これといった趣味はありませんが、体を動かすことが好きで、今年は初めてピクセルボールに挑戦しました（みなさん、ご存じですか？）。

Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

今年度の意匠委員会の研究テーマは、下記の通りです。

第1小委員会：

外国意匠法制度およびホットトピック（生成AI等）に関する各国への意見発信

第2小委員会：

「ECサイトにおける権利行使」に関する調査研究

第3小委員会：

「海外出願を見据えた国内出願の最適化」に関する調査研究および国内対応

意匠委員会では、今年3つの小委員会を編成し、①外国を中心に意見発信+α（生成AI）、②外国判例や権利行使等の調査研究+α（中国部分意匠）、③国内出願についての調査研究+α（JPO意見交換等）を行っています。

意匠委員会は、クリアランス→出願権利化→権利活用と全ての領域が対象です。毎年新しい小委員会で幅広く検討し、研究テーマを設定しています。また、小委員会横断のワーキンググループを作ることもあります。今年は、メタバースについてWGで検討しています。

委員の派遣も積極的に行っており、特許庁との意見交換会は今年すでに10回を超え、外国での国際会合にも派遣しています。今年は、ハーグ作業部会（スイス）、意匠法条約外交会議（サウジアラビア）に派遣します。その他、特許庁の研修や研究会への参加、他団体との意見交換等、意匠実務の様々な課題・議論に触れることができます。いずれも、企業の目線から意匠委員会ならではの成果を目指して活動しています。

Q 委員会の特長/魅力は？

●意匠の話ができること

決して怪しい意味ではありません（笑）。

企業では、特許・意匠もしくは商標・意匠と兼務の場合が多いのではないのでしょうか。そのため、社内に意匠について聞ける人がいない、議論できないといったことはありませんか。

安心して下さい！ここにいますよ！！

委員会には、多様な業界から様々な経歴のメンバーが、ベテランから新任まで参加しています。意匠の話ができる／相談できる環境で、1人で抱えている意匠の悩みも、委員会で相談すれば、とるにたらないことと笑い飛ばせることもあるかもしれません。

●委員同士の仲の良さ、活動のしやすさ

とても仲の良い委員会で、委員同士のコミュニケーションも多く、楽しく成長できる場だと思います。あっ、キャラは濃い方が多い気がします。委員会での議論はもちろん、委員会後の懇親会はてんやわんやです。。とにかくみんな本当にいい笑顔です。また、web参加可能で、子育て中で時短勤務の方も複数人活躍いただいているのも特徴です。

●意匠を通して産業界に貢献できること

大きな視点の話ですが、国内外に対し提言や意見発信を行い、また企業に役立つ調査研究を行うことで、意匠制度の発展と意匠権の活用促進に貢献しています。



合宿当日（展示室見学）



合宿翌日

Q 委員会としてのこだわりは？

1 つめは、『一生懸命取り組む』です。委員会活動は、個社の通常業務にプラスして委員会活動を行います。貴重な時間を使いますので、個人の成長にも研究成果にもプラスになるように、一生懸命取り組むことが大事だと思いますし、みなさん実践してくれています。

2 つめは、『笑顔』です。意匠委員会は、正直ちょっと忙しい

です。ですが、ただ忙しいだけにはしたくありません。そこで、訪問した個社の展示室等は“意匠”委員会として積極的に見学させてもらい、懇親会や合宿など、楽しい瞬間・笑顔になる瞬間を持つようにしています。

意匠について、一生懸命考え、ともに笑い、息抜きに懇親会やって、専門性（匠）を高めていけるような委員会を目指しています。